

2020 ドイツに学ぶ幼児教育研修の旅

＜期間＞2020年6月21日(日)～6月28日(日)



＜締め切り＞2020年2月末日＞

＜研修費＞ 298,000 円 (航空券は含みません)
 ＜募集人員＞ 12 名 ＜最少催行＞ 8 名、(担当者同行)
 ＜訪問都市＞ ドイツバイエルン地方
 ※ご希望の方には航空の手配も致します。
 ※宿泊は全泊バイエルンの貸別荘を利用いたします。(原則ツイン)
 ※一人部屋追加料金は 36,000 円。
 ※参加費の他に訪問先へのお土産等共通費として、別途 5,000 円必要になります。
 ※現地での移動は専用バスになります。
 ※現地の都合もあり、締め切りを2月末といたします。参加を希望される方は、早めにお申し込みいただくようお願いいたします。

ひにち	スケジュール(予定)	
1 6月21日 (日)	*ミュンヘン空港に集合。担当者は羽田発ドイツの直行便で行きますのでよろしかったら一緒にどうぞ。 *ミュンヘン空港から宿泊地へバスで移動。 到着後打ち合わせ夕食、宿泊は全泊バイエルンの貸別荘	機 夕
2 6月22日 (月)	午前:レクチャー1:『ドイツ事情について』 午後:レクチャー2:『ドイツの子育て事情』 *ショート・ハイキング *夕食、全体ミーティング(毎晩行う予定です)	朝 自 夕
3 6月23日 (火)	午前:園舎のある普通幼稚園の視察 (Kirchberg im Wald) 午後:障害者施設の視察	朝 自 夕
4 6月24日 (水)	午前:「森の幼稚園」(Passau) 視察 午後:市街地 Passau 散策(予定)	朝 自 夕
5 6月25日 (木)	午前:「多世代の家」の視察(保育施設も併設) 午後:フリータイム	朝 自 夕
6 6月26日 (金)	ユネスコ世界文化遺産の町、レーゲンスブルク観光	朝 自 夕
7 6月27日 (土)	午前:*研修の振り返り 午後:*宿泊地からミュンヘン空港へバスで移動 *ミュンヘン空港到着後、現地解散、日本帰国	朝 自 機
8 6月28日 (日)	日付変更線通過 日本着	機

【この研修を企画したポイント】

1.バイエルンの森に滞在

現地での滞在は「バイエルンの森」の中に位置する小さな村(人口が300人弱)になります。ゆったりと流れる時間と周囲の豊かな自然に触れながら「スロー・ライフ」を少しでも感じていただければと思います。

2.「森の幼稚園」を視察

園舎のある通常の幼稚園と森の幼稚園の見学を通して、ドイツにおける幼児教育の特色を考えます。

3.障害者施設の視察

「共に、それぞれのために」をモットーにしながら、1971年から障害者のための「労働」、「生活」、「教育」、「余暇」を支援している団体を訪問します。「労働」部門となる授産所の見学を通して、障害者との共生に向けた取り組みを考えます。

4. 多世代の家視察

少子・高齢化が進む現代社会において、高齢者施設と保育施設との協働の中から「Win-Win 関係」となる新たな交流モデルが生まれると言われることがあります。「多世代の家」の訪問はその可能性を探る一つの契機になるかもしれません。

5. ハイキングや散歩

今回の研修ではプログラムの一つとして、バイエルン地方の空気を楽しんでもらう予定です。早朝、昼間、夕方など、様々な時間帯に村の中や周辺を散策することで、ドイツ人の日々の生活を多面的に知ることができます。

※交通機関や現地の事情により実施日や視察・研修の内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了解ください。

※研修終了後は、参加者全員の方にご協力いただき、研修のまとめを作成いたしますので、よろしくお願いいたします。

※食事 (朝:朝食)、(昼:昼食)、(夕:夕食)、(自:自由食)、(機:機内食)

※この事業を担当する職員は、現地までの往復航空券を日ごろお付き合っているところへ手配をさせていただく予定です。是非ご利用ください。

企画:ドイツ社会福祉交流企画

＜代表＞中能孝則(nakayoku takanori)

公益財団法人社会教育協会理事・元日野社会教育センター館長
 申し込み・問い合わせは中能まで

連絡先:090-5558-1440

E-mail:nakayoku-t@kg8.so-net.ne.jp

後援:公益財団法人社会教育協会

NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟

■視察についてのお問い合わせ

この事業は中能孝則(公益財団法人社会教育協会理事で、元日野社会教育センター館長)が担当しています。往復の航空券の手配や、活動内容等、相談等がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

■ご参加を希望される方は、お名前や住所、メールアドレスをお知らせください。申込書をお送りいたします。またホームページからでもダウンロードできます。

※研修費は2019年11月末のレートで計算してありますので、変動した時には変わります。

「ドイツからのメッセージ」

現地セミナーリーダー：下羽友幸(ドイツ・トリーア大学日本学科)

日本人にとって、ドイツはどのような国に見えるのでしょうか。第二次世界大戦の敗戦から奇跡の経済復興を成し遂げた、日本に類似した国として親しみを感じる人は少なくないかもしれません。しかしながら、戦後の歩み方には似て非なる側面があるのですが、それは一体どのようなことでしょうか。

ドイツ語に「Tafel/ターフェル」という言葉がありますが、「食卓」、「食事」を意味します。この「Tafel」を名称にした市民団体がドイツ各地で活発な活動を展開しています。それは「Tafel」だけに、生活困窮者に対して定期的に「食事」を提供する支援です。

そして、「Tiertafel/ティア・ターフェル」(Tier/ティアは「動物」という犬猫の餌を無償で提供している市民団体もあります。飼っている犬猫の餌が購入できない生活困窮者のための支援活動です。

歩行者天国を歩いていると、路上に座って金銭の恵みを請う生活困窮者と、その傍らでおとなしくしている犬を見かけることがあります。孤独になりがちな生活困窮者の心に寄り添う動物は、彼らに生きる力と勇気を与える大切なパートナーなのです。また、捨てられたりして飼い主のいない動物にとっても、いつもそばにいて、不断の愛情を注いでくれる生活困窮者は心の拠り所となっています。

このように「生」に対する権利を尊び、自主的・主体的に支援の手を差し伸べようとするドイツ社会の奥深さから、私たちが得られる学びは決して小さくはないと思います。

一週間弱の短いドイツ滞在ですが、小さな村での日々の営みの中に身を置きながら、実生活を肌で感じるとともに、幼児教育、障害者支援、高齢者福祉の活動現場の見学を通して、両国の相違について語り合いませんか。そして、日本社会の現状に目を向け、さらに将来を展望する機会となるならば、これ以上の喜びはありません。



＜あなたもこのチャンスを自分のものにしてください＞

NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟監事
公益財団法人社会教育協会理事
中能孝則

公益財団法人社会教育協会が運営しています、日野社会教育センターでは1969年の開館当初より、幼児青少年を対象にした、自然体験活動に積極的に取り組んできました。

いま日本では自然学校や、森のようちえん活動が盛んにおこなわれていますが、日野社会教育センターでは50年に及ぶ経験を積んでおります。そして、1994年より、森のようちえんの発祥の地である、福祉国家デンマークに学ぶ、高齢者福祉や幼児教育の研修ツアーを25年間、延べ28回実施してきました。その活動の途中で、ドイツでもデンマークに学んで森のようちえん活動に取り組んでいるとの情報を耳にしました。

そこで少し調べてみましたところ、教育の盛んなドイツでも、幼児、青少年期の子どもたちが、自然にふれて遊んだ体験は、「その後の人生を豊かにつくる上からも必要不可欠である」ことに確信を持ち、すでにこの活動で実績を重ねていたデンマークに関係者が外向き数年かけて学び、その成果をもとにドイツでも森のようちえん活動を積極的に取り入れており、その成果は、世界的にも認められるようになりました。

今回私共は、知人を通じてドイツのトリーア大学日本学科で教鞭をとっていらっしゃる下羽友幸先生と巡り合うことができ、先生の幅広い知識とご尽力の元、他に例を見ない中身の濃いプログラムをご提案いただき、企画することができました。

今回の研修は、ドイツの成熟した民主主義の下で実施されている様々な活動を、自分の目で見て心で感じていただく活動を行います。あわせて、“外”から日本を見ることによって、自国の良さや特徴、そして、この先の日本のあり方について自分の足元をじっくり見つめ直す機会につながると思います。

このような機会にお誘いあわせの上、どうぞご参加ください。



＜参加に当たって＞

■研修費用に含まれるもの

日程表に記載された、現地での団体行動中の研修、移動のための乗り物料金、オプションを除く観光料金、ツインルーム宿泊料金、サービス料金、日程に記載されている食事代、研修・通訳料金、随行員費用。

■研修費用に含まれないもの

電話代などの個人的費用、現地へのお土産代、現地関係者との交流会の費用、傷害、疾病に関する医療費、シングル部屋の使用料金、飲み物・自由食の代金、フリータイム、オプションの代金。現地までの往復航空券、旅券印紙代、渡航手数料、日本の空港をはじめ各地空港施設使用料、航空保安税、日本国内における自宅から成田空港までの交通費。

■申し込み方法

申込書に必要事項をご記入の上、ドイツ社会福祉交流会企画中能孝則へ申し込んでください。その際申し込み金¥30,000(研修費用に充当)が必要になります。申し込み金をいただいた時点でこの研修への参加が成立する

ものといたします。なお、残金は4月15日までにお振込みください。

■＜振込先＞

郵貯銀行 普通預金
店番 018 記号 10130
番号 9393154

加入者名：ナカヨク タカノリ

※どの銀行からでも振り込むことができます。

■取り消しについての払い戻し

お客様はいつでも次に定める取り消し料をお支払いいただいて今回の契約を解除することができます。

研修開始日の

60日前～29日前……参加費の10%

30日前～14日前……参加費の30%

13日前～04日前……参加費の40%

3日前～前日……参加費の50%

出発日当日……参加費の100%

■研修の実施人数

参加者が8名に達しない場合は今回の視察を中止することがあります。その場合は、4月末日までにご通知いたします。

■研修についてのお問い合わせ

この事業は中能孝則(元日野社会教育センター館長)が担当しています。

往復の航空券の手配や、活動内容並びにオプションの相談等がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

■往復の航空券の手配について

この事業を担当する中能は、現地までの往復航空券を、株式会社ケアサービスひかり ひかりツアーリストに手配していただいています。現地空港での手続きなどをスムーズにするためにも、是非ご利用下さい。

ご希望される方はドイツ社会福祉交流会までご一報いただければ航空券の手配をいたします。尚、航空券等に関する諸費用は、ひかりツアーリストより各自のところに請求が参りますので、期日までに納めてください。

(2019年11月30日作成)